

# 北海道学び推進月間の取組

宗谷教育局  
教育支援課  
令和2年12月

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

## ○ 自然観察学習の取組

## 【北海道浜頓別高等学校】

浜頓別高等学校では、毎年4月、第1学年の生徒を対象に、「身近な地域の自然環境に直接触れ、自然科学に関心を高める」ことや「地域における環境と生物の調和や問題点を知り、自ら考えるきっかけとする」ことを目的に自然観察学習を実施しています。

今年度は4月17日（金）に、浜頓別町内にある「浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館」を訪問し、クッチャロ湖の概要やコハクチョウの生態、ラムサール条約の内容などの説明を聞きました。その後、クッチャロ湖畔に移動し、白鳥やカモなどが餌を食べたり、天敵の強襲により一斉に飛び立ったりする様子を観察しました。

生徒からは「水鳥の動きを間近に見ることで、地域の自然と生物との関わりについて深く調べてみたいと思った。」などの感想が聞かれるなど、今後の学習への意欲を高めることができました。



【水鳥を観察する様子】

## ○ 学ぶ意欲を高める家庭学習の取組

## 【稚内市立稚内中央小学校】

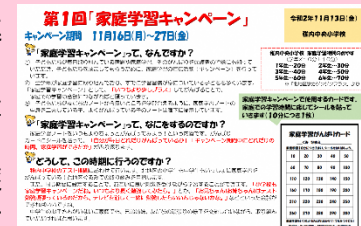
稚内市立稚内中央小学校では、11月中旬から下旬にかけて、家庭と連携した「家庭学習キャンペーン」を行っています。

期間中、児童は「いつもより少しプラス」をテーマに、家庭学習の量や時間に気を付けて取り組みました。

学校では、事前にキャンペーンの目的や目安となる学習時間等を保護者に周知するとともに、お便り等で取組の様子を発信し、児童は保護者に励まされながら家庭学習に取り組むことができました。

また、手本となる家庭学習ノートを校内に掲示し、児童からは「自分のノートも紹介されるように頑張りたい」など、意欲的な声が多く聞かれ、保護者からは「キャンペーン期間と中学校のテスト期間が重なっていたため、兄弟で切磋琢磨しながら学習していました」などの声も聞かれました。

学校では、今後も、児童が意欲をもって計画的・継続的に家庭学習に取り組むことができるよう、取組の充実を図ることとしています。



【保護者に配付したチラシ】



【掲示した家庭学習ノート】

## 「北海道学び推進月間」標語

☆最優秀作品（最優秀賞）☆ 北海道稚内高等学校 4年 小沼志織さん  
「学ぶこと それは世界を 広げること」

☆☆優秀作品（奨励賞）☆☆ 礼文町立礼文小学校 3年 久保芽唯人さん  
「学ぶこと 미래のぼくへ プレゼント」

礼文町立香深井小学校 6年 熊木ななさん  
「学力は 未来のための 下じゅんぴ」

北海道稚内高等学校 3年 柴田末結さん  
「その一問 夢を叶える 第一歩」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。

